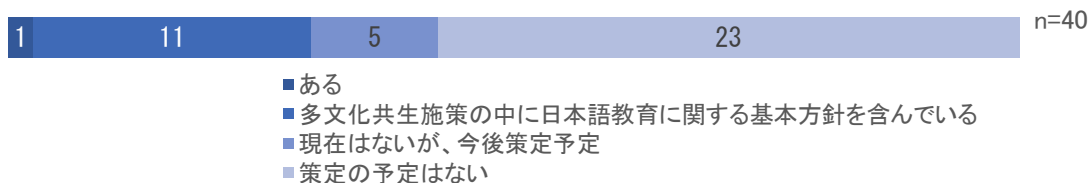


Ⅱ 調査結果 ※2018年度のデータは「第1回県内在住外国人支援に関する基礎調査」(2018年12月実施)による

1. 市町

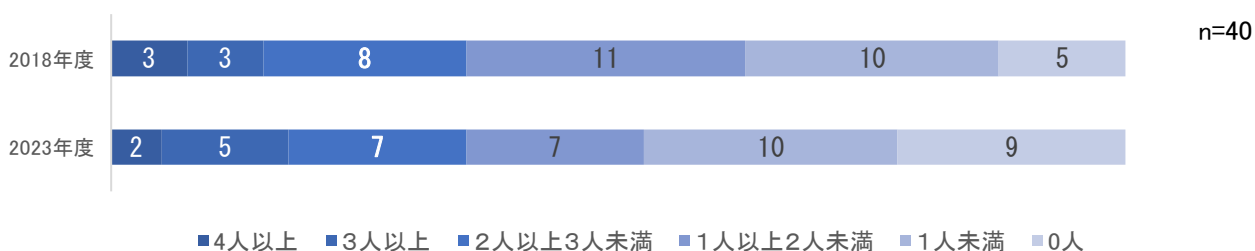
【問1】日本語教育に関する基本方針等の有無について



【問2】外国人支援施策担当職員数

(1) 所属長を除き、市町で人件費を負担している職員数の合計(兼務の場合、割合に応じて0.5人等とする)

	正規職員	非正規職員	合計
2018年度	36.3人	18人	54.3人
2023年度	38.85人	17.6人	56.45人

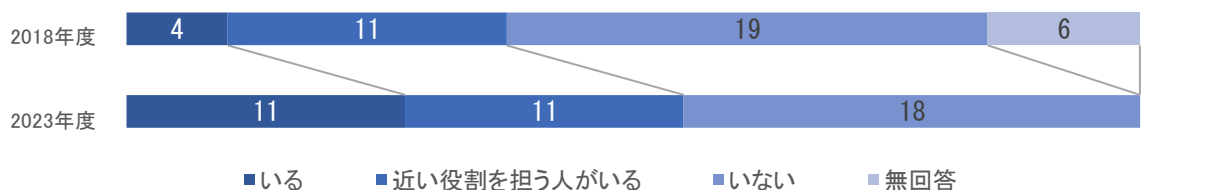


(2) 市町派遣職員等、人件費を負担している職員数(国際交流協会等への委託により実施している場合)

	市町派遣職員	プロパー職員	非正規職員	合計
2018年度	4.5人	16人	25人	45.5人
2023年度	6人	15人	23人	44人

【問3】地域日本語教育コーディネーターの配置

(1) 地域日本語教育コーディネーターの配置の有無



(2) 地域日本語教育コーディネーター、あるいは、そのような役割を担っている人の属性等

回答1：地域日本語教育コーディネーター

回答2：地域日本語教育コーディネーターに近い役割の人

属性等	回答1	回答2
日本語教室実施主体の職員（市町、国際交流協会、NPO）で日本語教育関連事業専従	2	1
日本語教室実施主体の職員（市町、国際交流協会、NPO）で他の業務と兼務	6	4
日本語学習支援者でコーディネーター業務に対して報酬が支払われている	2	0
日本語学習支援者でコーディネーター業務に対して報酬が支払われていない	1	6

(3) 地域日本語教育コーディネーター、あるいは、そのような役割を担っている人の研修受講歴及び資格（複数回答可）

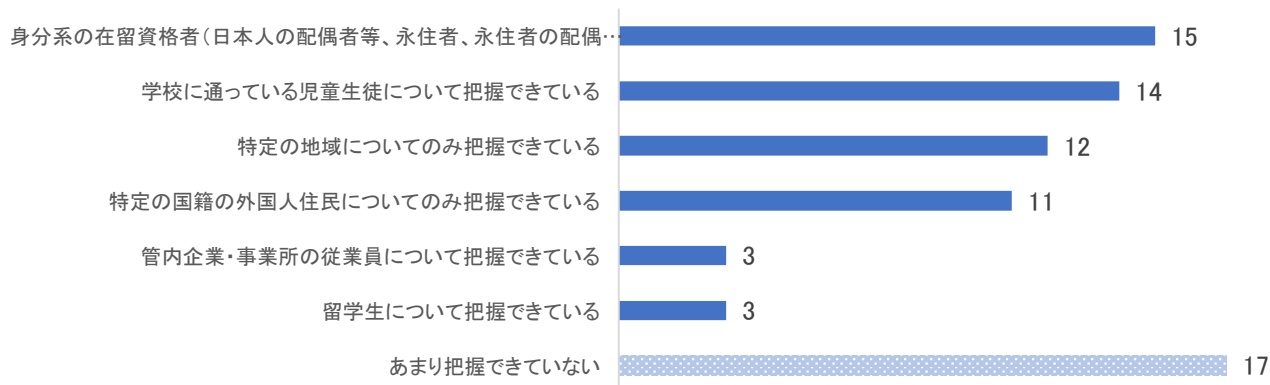
回答1：地域日本語教育コーディネーター

回答2：地域日本語教育コーディネーターに近い役割の人

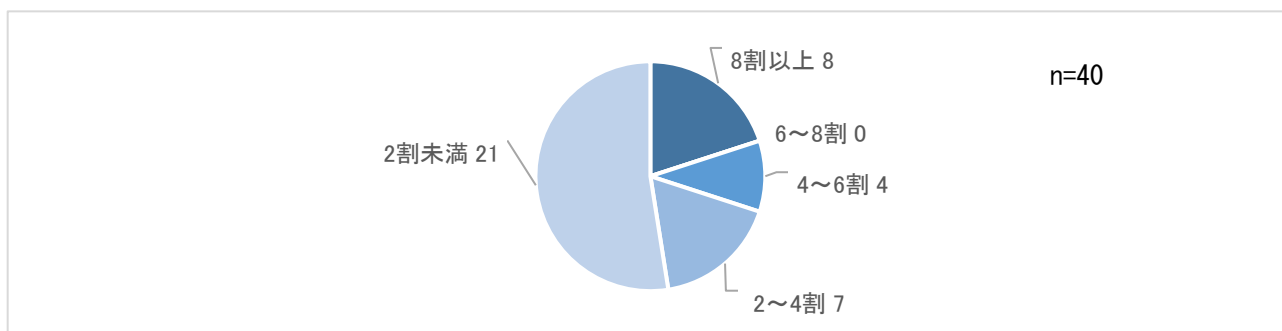
研修受講歴及び資格	回答1	回答2
文化庁地域日本語教育コーディネーター研修修了者	3	1
HIA 主催コーディネーター研修受講者	6	2
有資格の日本語教師	3	1
該当しない	1	8

【問4】域内の外国人住民居住実態把握状況（複数回答可）

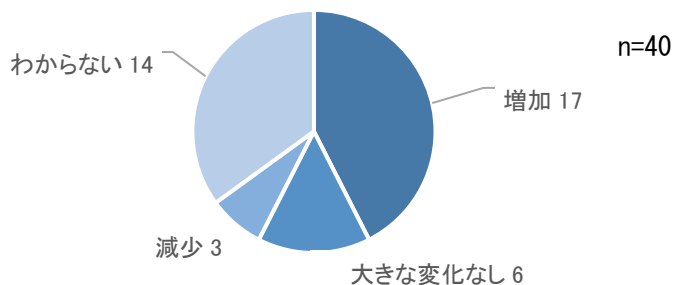
(1) 地域、属性別にみる外国人住民の実態把握状況



(2) 把握できている外国人住民の割合

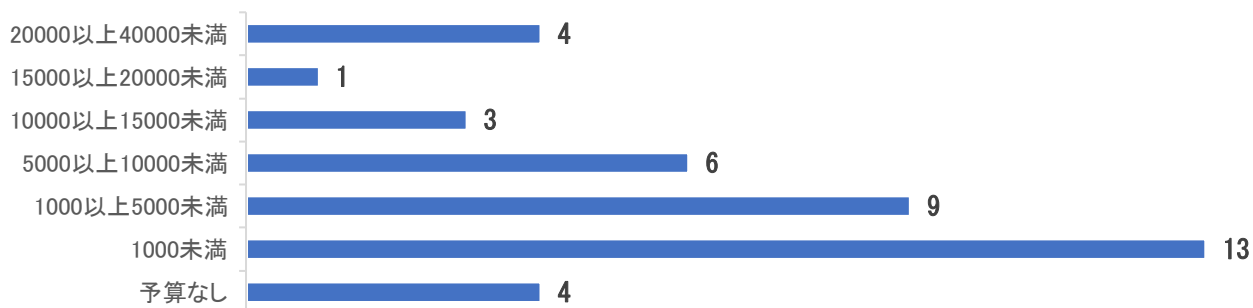


【問5】日本語学習支援が必要な外国人住民数の推移(2019年度と比較して)

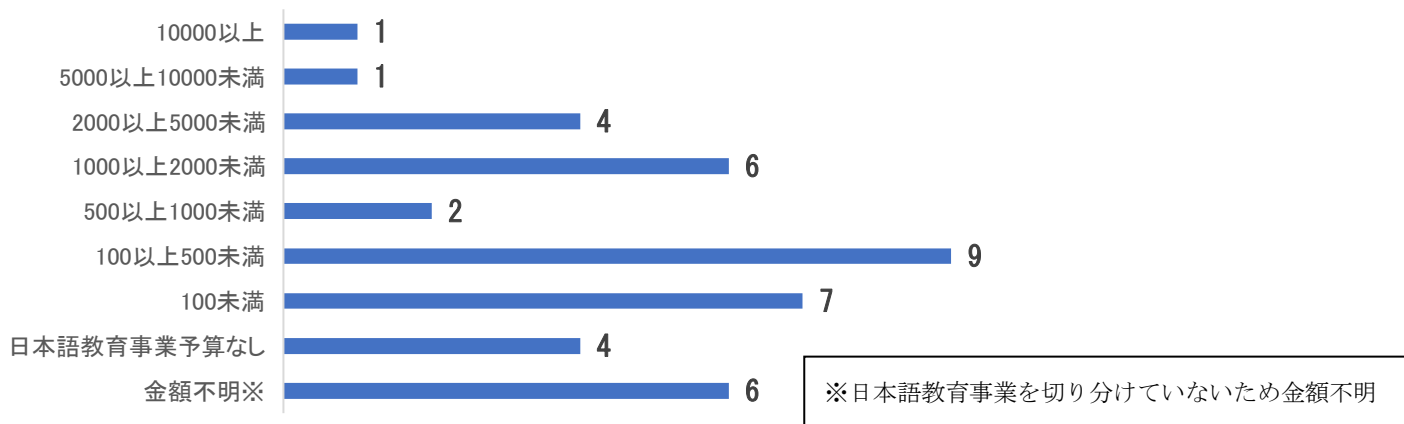


【問6】外国人支援、多文化共生のための事業に対する今年度当初予算額

(1) 当初予算額(千円) n=40

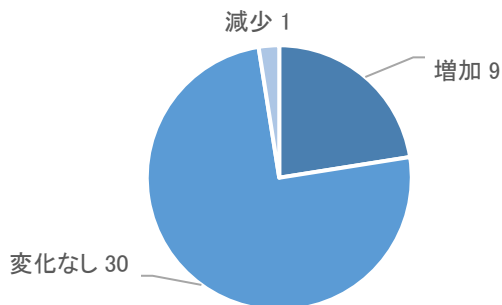


上記当初予算のうち、日本語教育事業の予算額(千円) n=40



(2)2019年度日本語教育推進法施行後、日本語教育に関する予算の増減

n=40



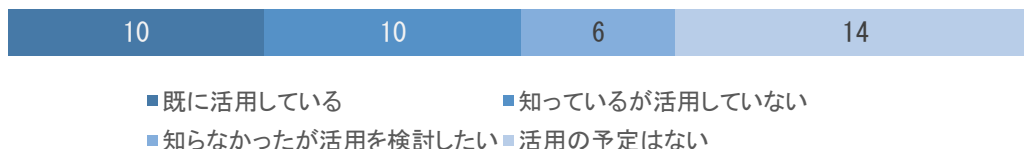
(3) 今後、予算の増額を予定している市町数:9

新規事業を検討している市町数:5

- ↳ 事業内容：日本語ボランティアの学校園派遣  
 教室の増設  
 町内の在住外国人の居場所づくりや日本語支援に係る経費の一部を補助

(4) 間接補助事業の活用状況

n=40



【問7】

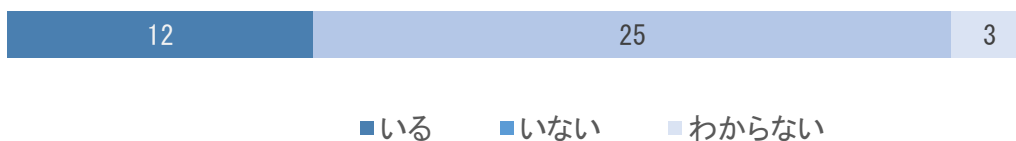
(1) 県内日本語教室数

運営主体	成人対象日本語教室数	子ども対象日本語教室数
市町 ※1	11	2
国際交流協会	32	15
民間団体	30	11
合計	73	28

市町・国際交流協会は複数教室を運営している場合もあるが、団体数1とする。

(2) 有資格の日本語教師に講師謝金を支払っている日本語教室を有する市町数

n=40

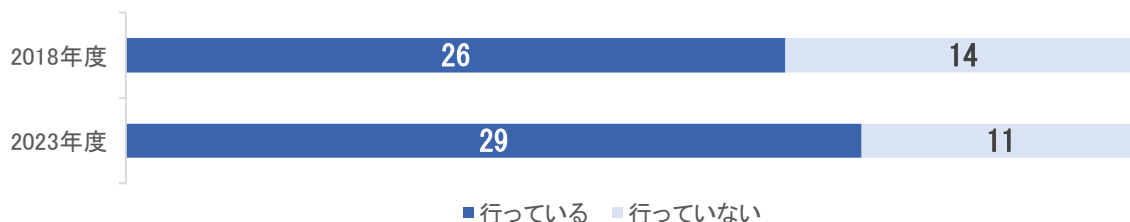


※成人対象日本語教室における上記日本語教師数：2018年度 21人 ⇒ 2023年度 38人

【問8】域内の日本語教室の状況把握

(1) 日本語教室との情報共有・意見交換

n=40

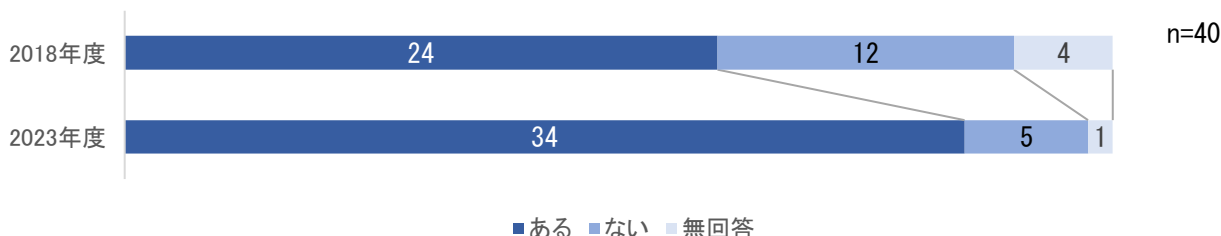


(2)市町が把握している直近の課題など(自由記述の回答から項目を立て内容を記載)

主な項目	内容
人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援者不足・高齢化</li> <li>・コーディネーターの未配置</li> </ul>
ニーズの多様化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入門期の学習者の増加</li> <li>・就労者対象の日本語教育の要望</li> <li>・子ども対象の日本語教室の要望</li> <li>・託児サービスの要望</li> </ul>
教室の周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語学習を必要とする人に情報が届いていない</li> <li>・教室やイベントに参加しているのは在住外国人の一部にすぎない</li> <li>・技能実習生等の雇用主とのやり取りが難しく、日本語学習の要望が見えにくい</li> </ul>
教室運営方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労者の仕事の繁忙期などスケジュール調整が困難</li> <li>・開催日時の設定が困難</li> <li>・事務移管の問題</li> <li>・受講者間のつながりが無い</li> </ul>
学習支援方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援方法に関する研修が必要</li> <li>・アラビア語やフランス語の教材が不足</li> </ul>
方向性の違い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県は外国籍児童生徒の交流の場であり、居場所づくりをしてほしいとの考えがあるが、市は日本語指導を中心とした学力の定着に重点を置いてほしいと考えているため、方向性の違いに困惑する時がある</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空白地区への対応</li> <li>・会場の確保</li> </ul>

【問9】関係機関との連携

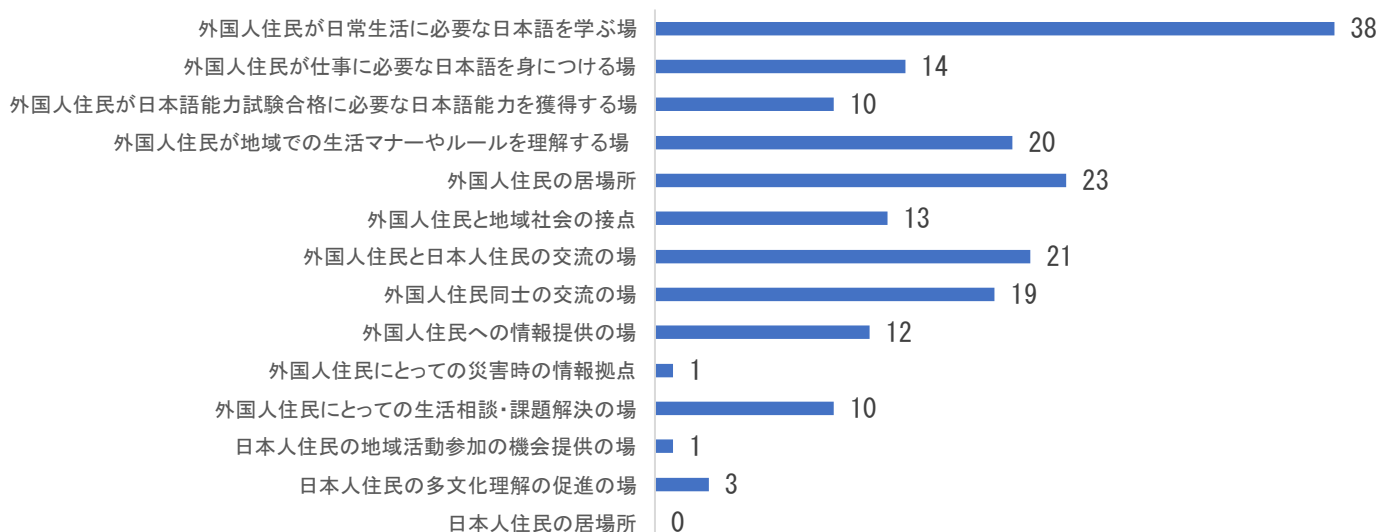
(1)連携の有無



(2)連携や協力先

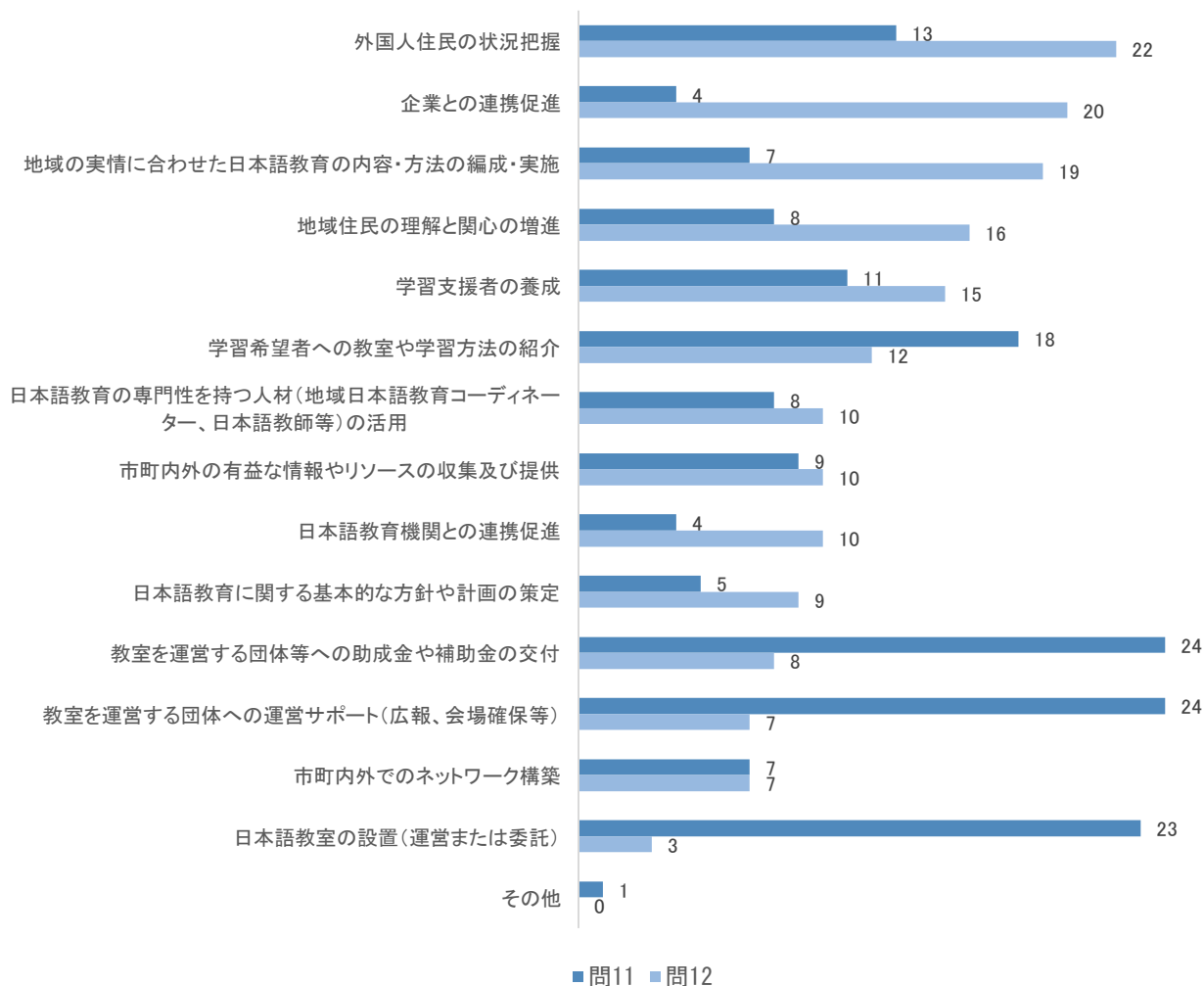
連携・協力先	内容(市町→連携先)
市町国際交流協会	補助、委託、減免、視察、研修、情報共有、支援依頼、通訳派遣依頼、相談業務依頼
域内日本語教室実施団体 教育委員会	補助、減免、視察、研修、相談、情報共有、支援依頼、 外国にルーツをもつ子どもの生活相談、子ども多文化共生サポーター 派遣依頼
商工会/商工会議所	意見交換、日本語教室のチラシ配布等
企業	外国人就労状況に関する調査協力
町内各課	情報共有、意見交換、出前講座の依頼(ゴミ、防災、医療等)
社会福祉協議会、自治会	情報共有、意見交換
日本語学校	情報共有、意見交換
HIA	講師の派遣・紹介依頼、研修依頼、相談

【問 10】地域日本語教室とは(上位 5 つまで選択可)



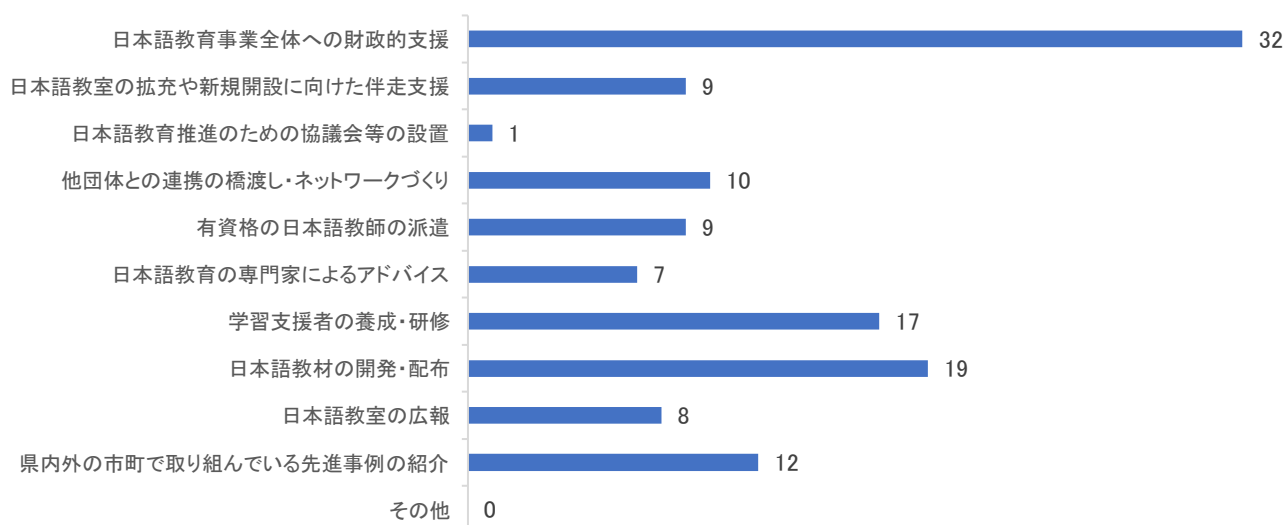
【問 11】日本語教育に関して現在行っている、あるいは過去に行った取組(複数回答可)

【問 12】今後、必要と考える取組(複数回答可)



「その他」の回答：外国にルーツを持つ子どもたちを対象とした日本語指導・学習支援

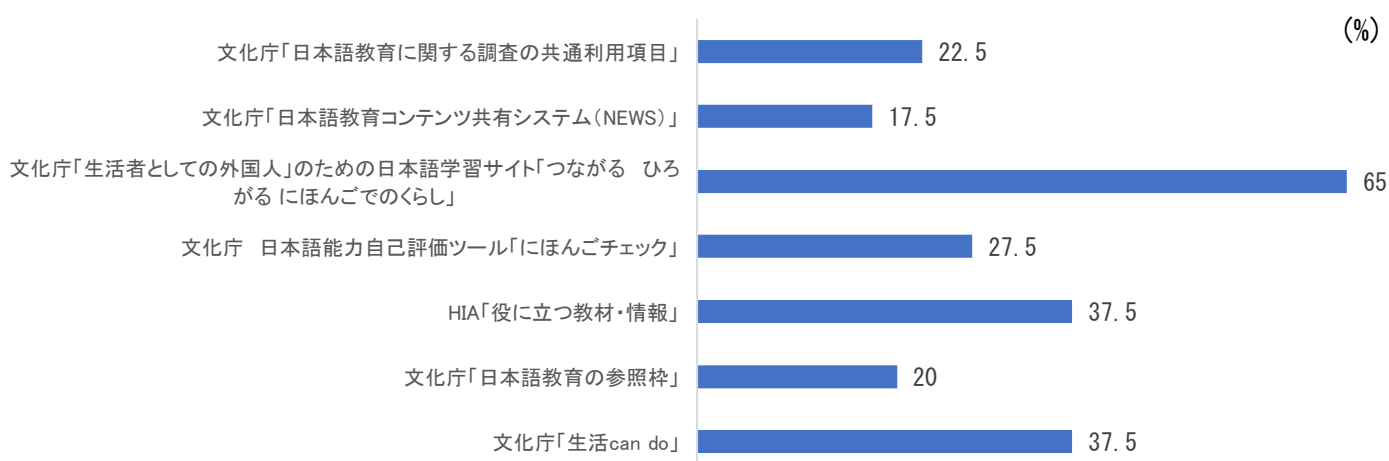
【問 13】国や県等に求めたい支援(上位 5 つまで選択可)



【問 14】地域日本語教育の充実に向けて提供されているコンテンツや情報の認知度及び活用状況

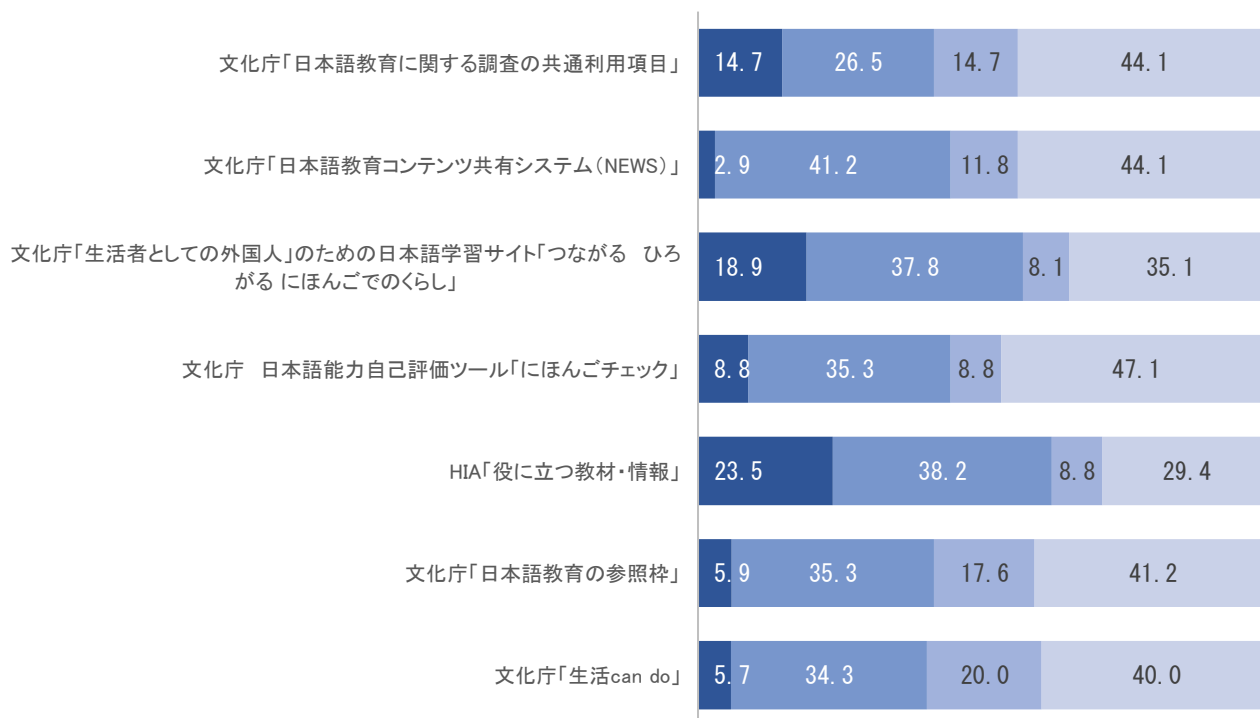
文化庁「日本語教育に関する調査の共通利用項目」 <a href="https://www.nihongo-ews.bunka.go.jp/infomation/examination">https://www.nihongo-ews.bunka.go.jp/infomation/examination</a>
文化庁「日本語教育コンテンツ共有システム (NEWS)」 <a href="https://www.nihongo-ews.bunka.go.jp/">https://www.nihongo-ews.bunka.go.jp/</a>
文化庁「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト「つながる ひろがる にほんごでの暮らし」 <a href="https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/ICT_kaihatsuteikyo/index.html">https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/ICT_kaihatsuteikyo/index.html</a>
文化庁 日本語能力自己評価ツール「にほんごチェック」 <a href="https://www.nihongo-check.bunka.go.jp/">https://www.nihongo-check.bunka.go.jp/</a>
HIA「役に立つ教材・情報」 <a href="https://www.hyogo-ip.or.jp/torikumi/tabunkakyose/kyozai/index.html">https://www.hyogo-ip.or.jp/torikumi/tabunkakyose/kyozai/index.html</a>
文化庁「日本語教育の参照枠」 <a href="https://www.nihongo-ews.bunka.go.jp/infomation/framework_of_reference">https://www.nihongo-ews.bunka.go.jp/infomation/framework_of_reference</a>
文化庁「生活 can do」 <a href="https://www.nihongo-ews.bunka.go.jp/infomation/framework_of_reference#life">https://www.nihongo-ews.bunka.go.jp/infomation/framework_of_reference#life</a>

(1)上記コンテンツや情報の認知度



(2) 上記コンテンツや情報の活用状況

(%)



■既に活用している ■活用を検討している ■活用方法がわからない ■活用の場や機会がない